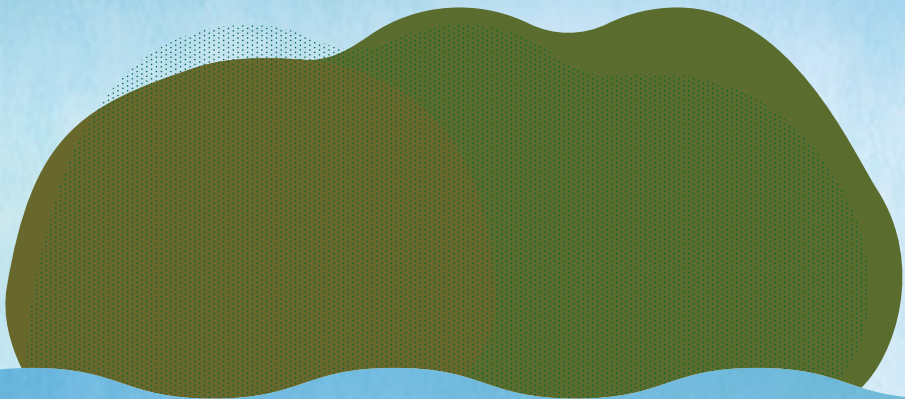


アーティスト・イン・アイランド@亀山支2019



えいごのかたち

私たちは一人では生きられない社会的な動物です。文字や言葉、記号などを通して情報をやり取りしますが、そもそも他人と気持ちや考えが通じるとはどのようなことでしょうか。情報が正確に伝わることは常に望ましいことでしょうか。

芸術の世界では「美しい誤解」という言葉もあります。いったい誤解の何が美しいのでしょうか。現代アート、バンド・デシネ(漫画)、書などを通じて「ことばのかたち」を探りながら、その起源や豊かさをともに体験してみてください。

展示会場
岐阜市内3カ所

開催期間
会場ごとに
会期が異なります

入場無料

入場無料

展示 A



グウ・ナカヤマ

2019**12.23**mon - 2020**1.19**sun

時間 9:00-17:00(入館は16:30まで)

会場 小金丸幾久記念館2F アートギャラリー
長崎県吉崎市郷ノ浦町本村触445

休館 水曜・年末年始[12/29(日)~1/5(日)]

※ 駐車場:普通車100台+障がい者用2台

漢字のもととなる象形文字のような要素に着目し、書でもあり絵画でもあるような作品。ことばのかたちの原点に触れてください。

展示 B



カトリーヌ・ムリス ヴァンサン・ルフランソワ

2020**1.1**wed - **1.16**thu

時間 8:45-17:30(入館は17:00まで)

会場 岐阜市立一支国博物館3F 多目的交流室
長崎県吉崎市芦辺町深江鶴亀触515-1

休館 1/6(月)・1/14(火)

※ 駐車場:普通車98台+障がい者用3台

フランス出身のバンド・デシネ(漫画)作家が岐阜滞在を経て制作した新作を展示します。二人は岐阜のどのようなところに注目したのでしょうか。

展示 C



寺江圭一朗

作家滞在期間

2019**12.12**thu - 2020**1.16**thu

活動場所

岐阜島内+公式WEBサイト

作家が岐阜島に滞在し、歴史や文化を掘り起こしながらアート活動を展開します。その軌跡はサイトにて日々更新されます。さあ、右記サイトにアクセスしながら岐阜島へ!

公式WEBサイト
ケーマゲヒンマゲ
<https://iki.plus100p.com>



Artist in Island @ Iki 2019 – Form of Language

カトリーヌ・ムリス

Catherine Meurisse

フランス在住。風刺漫画家、バンドデシネ作家、イラストレーター。グラフィックアートと印刷技術の専門学校エスティエヌ学院とパリ国立装飾芸術学院を卒業。バンド・デシネ作品『わたしが「軽さ」を取り戻すまで』（花伝社）では勤務先の出版社シャルリー・エブド襲撃事件で受けた悲劇を乗り越えるまでの自らの体験を描く。



ヴァンサン・ルフランソワ

Vincent Lefrançois

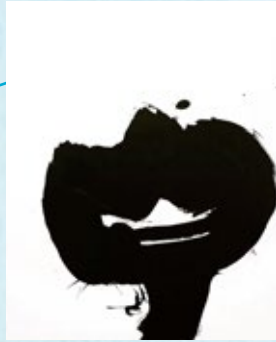
1966年生 / 福岡在住。バンドデシネ作家、イラストレーター。パリで造形芸術を学んだ後、フランス外務省から派遣され1991年来日。1995年イラストレーターの仕事を開始。2018年度に巻枝住民と交流しながらバンドデシネ作品を制作、巻枝市立一支国博物館にて発表。今年も引き続き巻枝での新作を制作。著作『放浪』ほか。



グウ・ナカヤマ

Goo Nakayama

1975年生 / 巻枝市在住。1982年書道を始める。2016年個展「TORI2016」小金丸幾久記念館・長崎。2017年「第八回天作会展 井上有一に捧ぐ「書の解放展」」三鷹市芸術文化センター・東京、個展「花2017」IAF SHOP*・福岡。2018年個展「無2018」旧八女群役所・福岡。2019年「ART SHODO TOKYO2018」三鷹市芸術文化センター・東京。2019年「ART SHODO AWARD 受賞」O美術館・東京。



寺江圭一朗

Kei-ichiro Terae

1981年 / 東京在住。美術家。他者との関わりをテーマに作品制作。旧大賀APスタジオ(福岡)、+100P arts & studio(福岡)等のアトスペース設立。2010年「ながさきアートの苗プロジェクト」伊王島・長崎、2015年「第13回リヨン・ビエンナーレ」他。2016~17年ポーラ美術振興財団及び文化庁の派遣制度で重慶・中国滞在。



関連イベント

アーティストトーク 2020.1.13 mon 14:00-16:00

本展参加アーティスト3人による自作の紹介および対談を行います。今回3人はどのような視点から創作に取り組んだのでしょうか？

- 会場 巻枝市立一支国博物館 多目的ホール(定員180名) 参加無料
- 講師 ヴァンサン・ルフランソワ、寺江圭一朗、グウ・ナカヤマ
- 司会 花田伸一(キュレーター/本展企画協力・監修)

巻枝島までの交通案内



展示 A 小金丸幾久記念館 2F アートギャラリー

- 郷ノ浦港から車で3分 / 徒歩10分
- 巻枝空港から車で15分 / 芦辺港から車で20分 / 印通寺港から車で10分
- 最寄りのバス停: 本町(郷ノ浦) / 亀川

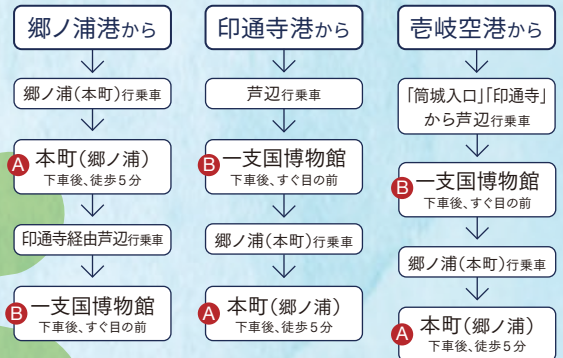
展示 B 巻枝市立一支国博物館 3F 多目的交流室

- 芦辺港から車で約20分
- 最寄りのバス停: 一支国博物館

展示 C 寺江圭一朗アートプロジェクト「ケーマゲヒンマゲ」(巻枝島内)

プロジェクト関連場所への行き方は公式WEBサイト(オモテ面QRコード)でご案内します

バスコース



※レンタカー、レンタルバイク、レンタル自転車等もあります

- 主催: 巻枝しまの文化芸術活動推進実行委員会 / 長崎県
- 共催: 巻枝市 / 巻枝市立一支国博物館
- 協力: アンスティチュ・フランセ九州 ● 後援: 巻枝ビジョン(株)
- 特別協賛: オリエンタルエアブリッジ(株)
- 協賛: 九州郵船(株) / 巻枝の蔵酒造(株) / 玄海酒造(株)
- 広報物デザイン: 森 恵美(CW-BAKU)
- 企画協力・監修: 花田伸一(キュレーター/佐賀大学芸術地域デザイン学部准教授)

スタンプラリー 3会場をすべてご覧になった方には記念品プレゼント!

